

未来予測×広域連携 = 多摩シンカ



多摩シンカ 「未来予測から広域連携を考える」

講義や先進事例から未来予測や広域連携を **“まなぶ”**

グループワークから施策や仲間を **“つくる”**

検討や発表を通じて広域連携を **“はじめる”**



全 5 回 5/31 6/25 7/8 8/7 11/15

概要は裏面、
詳細はHPをご覧ください。

5～8月は、各回ごとに講義やグループワーク(GW)を実施します。GWは職員の外、民間企業などにも参加していただき、さまざまな視点を取り入れます。
11月には、GWで作成した施策の最終発表を行います。

対象

多摩・島しょ地域自治体職員 (推奨：係長以下) **定員 40名**

所属や経験は問いません。

色々な方と関わりたい、1つのモノ・コトを協力して作り上げたいなど、やる気のある方を大募集です。

会場

me:rise 立川 Conference Room (東京都立川市曙町2-8-28 TAMA MIRAI SQUARE 3階)
JR立川駅徒歩5分

問合せ

✉ tama002@tama-100.or.jp

☎ 042-382-7722 (8:30-17:15 土日祝除く) 極力☎でのお問合せに御協力ください。

HP

<https://tmuri.jp/tamashinka2024>



主催



公益財団法人

東京市町村自治調査会



多摩大学
総合研究所

未来予測
×
広域連携

多摩シンカ 概要



近年の変化が著しい社会情勢を踏まえ、将来を見据えた上で、多摩・島しょ地域自治体の特性を生かし、多様な主体との広域的な協働のあり方を考えていくことが求められています。

このような中、令和3年3月に総務省より「地域の未来予測」が発表されました。これは、“地域が目指す未来像”の議論の材料となる将来推計のデータを、客観的かつ長期的な視点で整理したものです。「地域の未来予測」は作成すること自体が目的ではなく、これを用いて「目指す未来像」を地域に関わる様々な主体を巻き込みながら、議論していくことが重要とされています。

そこで本内容は、「地域の未来予測」を活用して、昨年度に実施した2023CITフォーラム「未来を創る広域連携を考える」で醸成された、多様な主体との広域連携の必要性を更に広げ、発展させていくために、企画したものです。

Part.1 地域の問題意識を共有しよう！



地域の“未来予測”や多様な広域連携の必要性を講義形式で学び、グループワークを通して地域の問題意識を共有する。

開催日(全1回)：第1回 5/31(金) 10:00~16:30

Part.2 広域連携について考えよう！



地域の“未来予測”やデータの活用方法を講義形式で学び、グループワークを通して広域連携の政策を考える。

開催日(全3回)：第2回 6/25(火) 第3回 7/8(月) 第4回 8/7(水)
10:00~16:30

Final 成果発表



Part.2で行ったグループワークの成果発表を行う。

開催日：11/15(金) 13:00~16:30

登壇者(予定)：総務省、東京都、先進自治体、民間企業等

※各回の詳細な内容に関しては別途、参加者宛にmailにてお知らせいたします。